

せいけいじゆくやまと

盛経塾大和

盛経塾大和は、盛和塾「大和」の正式な後継塾です。

設立趣意書



1983年に京都の経営者が、京セラを世界企業にまで育て上げた稲盛名誉会長から、生きた経営学、人生・経営哲学を学ぶため「盛友塾」が産声をあげ、その後、1989年に「盛和塾」として全国に展開され、奈良には2015年に盛和塾大和として設立されました。その盛和塾は稲盛塾長より「盛和塾は何度も何度も考えた結果、この盛和塾は一代限りで終わらせるのが一番良いと判断いたしました。」と熟慮を重ねての決断が発表され、2019年末に解散をします。

しかしこれは終わりではなく、むしろ我々にとって新たな始まりです。これだけ多くの経営者が従業員の幸せのために、真摯に人生哲学、経営哲学を学ぶ集団は、世界中を探しても他に類を見ない唯一無二の存在です。これまで稲盛塾長より学ばせていただいたこと、そして盛和塾で灯されたこの火は、決して消えることなく、実践の輪を我々が従業員やその家族に広げていく使命があります。

盛和塾が盛友塾から進化したように、盛和塾大和はこの使命を全うすべく、2020年1月に**盛経塾大和**として活動を開始いたします。盛経塾大和は、稲盛塾長がこれまで京セラ・KDDI・JALを率いられていた際に、企業の経営は、そのトップの持つ哲学、心、理念、信念というものによって大きく左右されるがゆえに、経営者として人格を磨き、心を高め、より高い思想を持つよう、努力をし続けるという考え方を倦まず弛まず学び実践しつづけたと考えております。

そのためには、これまで学び実践を積んでこられたソウルメイトである現盛和塾大和塾生全員の力が必要です。現段階でフィロソフィを完璧に実行している必要はありません。なんとか共に自分のものにしようとして努力し続け、塾生同士で気づき合いながら繰り返し学ぶことが尊いのです。自らの血肉と化し、経営の現場で実践し続け、一人でも多くの従業員を幸せにし、日本を元気にする大義の実現に向けて、切磋琢磨しようではありませんか。

まるで綿が水を吸収するように経営の真髄を感得し、自分自身の人徳を高めることで、心を変え、実際の経営に大きな効果を上げ、企業の安定と隆盛をはかることを希望される方のご参集を盛経塾大和発起人一同、心から願っております。

2019年11月2日

盛経塾大和 代表世話人 米田 稔

代表世話人 脇本 真之介

せいけいじゅくやまと

盛経塾大和 入塾申込書

盛経塾大和は、盛和塾「大和」の正式な後継塾です。

記入日 年 月 日

顔写真貼付
縦3cm×横
2.4cm
カラー写真

ふりがな
■氏名

■会員番号
*事務局使用欄

<p>■生年月日 昭和 年 月 日 男・女 平成</p>	<p>■会社 TEL</p> <p>■会社 FAX</p>
<p>■業務内容・取扱品目</p>	
<p>ふりがな</p> <p>■会社名</p> <p>■役職名</p> <p>■会社ホームページ URL http://</p>	<p>■売上高 円</p> <p>■従業員数 人</p> <p>■携帯電話</p> <p>■e-mail</p> <p>■諸連絡受信方法 FAX ・ e-mail (○を付ける)</p>
<p>■会社所在地 〒</p>	
<p>■業務内容・取扱品目</p>	
<p>■現在の経営課題（下記から選択してください。*複数回答可）</p> <p><input type="checkbox"/>収益性向上 <input type="checkbox"/>シェア・販路の拡大 <input type="checkbox"/>人材教育 <input type="checkbox"/>新製品の開発 <input type="checkbox"/>技術力の向上 <input type="checkbox"/>従業員満足度の向上</p> <p><input type="checkbox"/>品質やサービスの向上 <input type="checkbox"/>資金繰り <input type="checkbox"/>経営改善 <input type="checkbox"/>従業員の確保 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p>	
<p>■入塾の動機・想い</p>	
<p>■最も心に残る稲盛和夫氏の著書とその理由</p>	

■推薦者①

■推薦者②

代 表	代 表	世 話 人	世 話 人	世 話 人	事務局

*ご入塾にあたり、当塾の面接を受けていただきます。

*稲盛デジタル図書館への入会と、入会金の納付が入塾必須条件となっております。